

検証・2012年7月白川大洪水 世界の阿蘇に立野ダムはいらない 出版記念集会

ごあいさつ

国土交通省は、自らの事業検証で白川の治水には「立野ダム建設が最も有利である」と結論づけました。これに対する公聴会では、30名の流域住民が意見陳述をし、全員が立野ダム建設に反対や疑問の意見を述べ、「立野ダム案がよい」と発言した住民は一人もいませんでした。立野ダムができれば、白川流域の安全を守ることはできません。そこで、住民の視点で立野ダム問題と白川の治水対策についてまとめたブックレットを出版しました。

このブックレットの内容を住民みんなで共有し、広げていくために、出版記念集会を開きます。皆様方のご参加をお待ちしています。



●とき 2013年 1月19日(土)
午後1時40分開場 午後2時開会 (4時閉会予定)

●ところ 市民会館崇城大学ホール(熊本市民会館)会議室
熊本市中心区桜町1-3 電話096-355-5235

●内容 ブックレットの解説とリレートーク(どなたでも発言できます)
ゲスト 中島熙八郎さん(熊本県立大学名誉教授)

世界の阿蘇に立野ダムはいらない 出版記念パーティー



●とき 2013年1月19日(土) 午後5時より

●ところ カフェレガル びぷれす熊日会館3F(熊本市現代美術館内)
熊本市中心区上通町2-3 電話096-356-1718

※参加される方は事前に中島(電話090-2505-3880)までご連絡を!

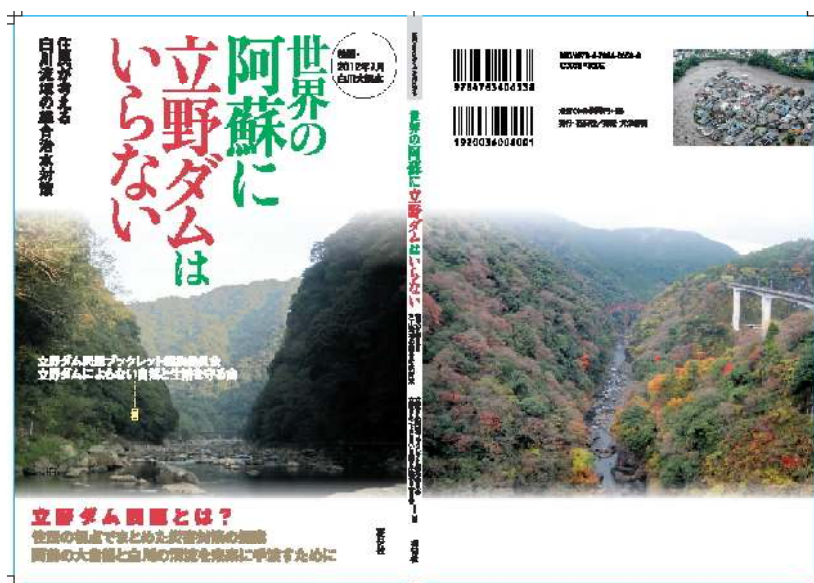
立野ダム問題を分かりやすくまとめたブックレットが完成しました！

検証・2012年7月白川大洪水

世界の阿蘇に立野ダムはいらない

～住民が考える白川流域の総合治水対策～

2012年7月12日、熊本県内はこれまでに経験したこともない豪雨に見舞われ、白川流域の各所に浸水被害を引き起こしました。私たちは浸水被害をうけた場所や、流域の河川改修の状況などの調査を進め、立野ダム計画の問題点と今後求められる白川流域の災害対策を、住民の立場からまとめたブックレットを出版しました。専門用語や分かりにくい数値などをできるだけ用いずに、どなたにも分かるように編集しました。是非お読みください。



编者：

立野ダム問題ブックレット編集委員会
立野ダムによらない自然と生活を守る会

出版元：花伝社 A5判88ページ

定価：840円(税込)

■通信販売について

このブックレットは全国の主要書店に並び、各インターネット通信販売でも販売中（送料無料）です。インターネットが使える方は、「世界の阿蘇に立野ダムはいらない」で検索してください。

なお、当会でも通信販売を行っています。是非お読みいただき、立野ダム問題を、あちこちに広げていただければ大変ありがたいです。

- 販売価格 1～4冊まで : 1冊840円×注文冊数+送料80円
5～14冊まで : 1冊700円×注文冊数（送料はサービスします）
15冊 : 1万円（送料はサービスします）

○注文方法 ハガキ、FAX、メールにてお願いします。

「立野ダムブックレット注文」と明記した上で、冊数、氏名、送付先、電話番号を明記してください。

郵送：〒862-0909 熊本市東区湖東2-11-15 緒方紀郎宛

FAX: 096-367-9815

メール: ogt-hawks@s8.kcn-tv.ne.jp

○支払方法 ブックレットに同封する郵便払込用紙にてお願い致します。

立野ダム問題ブックレット編集委員会 熊本市東区湖東2-11-15 緒方紀郎 電話FAX096-367-9815
立野ダムによらない自然と生活を守る会 熊本市西区島崎4-5-13 中島康 電話090-2505-3880